

Japanese Patent Publication No. Sho 63-27586,B (1988)

A centrifugal clutch for starting of a vehicle is connected directly to a crankshaft of an engine, and has a structure in which attendant on the rotation of the crankshaft, a plurality of clutch weights of the centrifugal clutch are inclined outwards against a spring force by the action of centrifugal forces, and a lining portion at an outer circumferential portion of the clutch weights is brought into contact with and engaged with an inner circumferential portion of a clutch outer, whereby the power of the crankshaft is transmitted from the clutch outer through a driving gear, a driven gear and a speed change clutch to a main shaft of a transmission mechanism.

DOCUMENT 1/1
DOCUMENT NUMBER
@: unavailable

1. JP,63-027586,B(1988)

Ⓢ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公告

⑩ 特 許 公 報 (B 2) 昭 63 - 27586

Int. Cl.
E 16 D

識別記号

厅内整理番号
2125-31

㉔公告 昭和63年(1988)6月3日

絶明の散 1 (全3頁)

④発明の名称 遠心クラッチにおけるジャグ防止装置

④特 照 昭55-182828

公 司 册 号 57-107440

出 題 昭55(1980)12月25日

357(1982) 7月3日

②発 明 者 宮 武 秀 明 埼玉県上埴岡市上福岡1-7-20 岡地荘1の1号室

⑦出 願 人 本田技研工業株式会社 東京都港区南青山2丁目1番1号

④代理人 弁理士 北村 欣一 外2名

審査官 町田 隆志

④参考文献 吳公 昭44-22013 (JP, Y1)

1

2

④特許請求の範囲

1 アウタの内周に接離する複數個のインナを駆動軸上の固定プレート部材に軸を介して協調自在に軸受すると共に該インナを互にばねで連結させ且つ該インナの側面にフリクションプレートを当接させるものにおいて、前記インナを前記駆動の先端が出ない肉厚に形成すると共に前記フリクションプレートをインナの内側面同士に当接する環状リングに形成し、該フリクションプレートの背面を互ねばで圧接させたことを特徴とする連心クランクにおけるジャックラット装置。

発明の詳細な説明

本発明は主としてオートバイその他の車両に適用される湿式の自動選心クラッチにおけるジャダの発生防止装置に関する。

従来の種クラッチとして、アウターの内周に接
 する複数個のインナを駆動軸上の固定プレート
 部材に軸を介して駆動自在に軸支すると共に、該
 インナを互にばねで連結させ且つ該インナの側面
 にフリクションプレートを当接させたものは例え
 ば実公昭44-22013号公報によつて公知である。
 しかし乍らものにおいてはそのフリクションプレ
 ートは、インナを軸支する軸に固定するものを一
 般としその駆付作が損耗となると共にインナの
 可動時の側圧が不安定となき等の不都合があつた

本発明は、かかる不都合のない装置を得ることを目的としたものでアウタの内周に接離する機構

個のインナを駆動軸上の固定プレート部材に軸を介して傾動自在に軸支すると共に該インナを互にばねで連結させ且つ該インナの側面にフリクションプレートを当接させるものにおいて、前記インナを前記軸の先端から出る肉厚に形成すると共に前記フリクションプレートをインナの内側面全面に当接する環状リブに形成し、該フリクションプレートの背面を凹ねて圧接させたことを特徴とする。

本発明の実施の1例を別紙図面に付説明する。

図面で1はエンジンその他の原動機に連結して回転する駆動軸、2は該軸1上に固定されるプレート部材を示し、該部材2上にインナ3の複数個を各根部の軸4を軸にしてばね5に抗して外方に

15 補助自在に配設すると共にその外周にこれと協動する円筒のアウタ6を備え、かくて全体として自動変心型のクラッチが構成されるようにし、これは例えばオートバイその他の自動2輪車における油密のミッションケース内に収容されて該ケース内の油中に浸漬され所謂浸透式として作用されるようにした。図示で7は該アウタ6からのびる従動軸を示す。

本発明によれば前記したジャダの発生を防止すべく、該軸1上に該インサ3の側面に当接されるフリクションプレート8を嵌合させ、これをその背面の凹部9で押圧して該凹部に圧入させ、かくて各インサ3はその側面に該プレート8との間の摩擦力を作用されて所定の負荷を与えられた状態となる。

- 149 -

BACK

NEXT

JP.63-027586,B

● STANDARD ○ ZOOM-UP ROTATION

No Rotation

MENU

SEARCH

RELOAD

PREVIOUS PAGE

HELP

NEXT PAGE

(2)

特公 昭 63-27586

3

4

態に得られるようにした。

図示のものにつき詳述すれば、該アウト7は扁平の棒状をなし、これにその開口端から前記したプレート部材2と次で各インナ3とを順次に組込み自在とするもので、各インナ3の端部の前記した軸4は該部材2上に予め植立されるピンから成り、これに各インナ3を対応する各軸孔で嵌合自在に嵌合させるものとし、次でこれにその外側から前記したフリクションプレート8と皿ばね9とを順次に施すもので、該プレート8は各インナ3を抜止めする部材としても使用するようにした。尚この場合、各インナ3は各軸4を構成する前記したピンの長さに比し多少とも大きな肉厚とし、その突出部において該プレート8と当接されるべく構成する。図面で11は前記した皿ばね9の外側に施されてこれを抜け止めするサークリップその他の部材を示す。更に前記したばね5は各インナ3の内側に沿つてのびて該インナ3をこれに隣接するインナ3との間に張設される型式とする。尚該プレート8はその内面にコルク或はゴム等のモールドを施す型式とすることが可能である。更に該プレート8はその外面に凸部12の3個を備えてこれらを皿ばね9の組付けに際しそれを位置決めする部材として作用されるようにした。

その作動を説明するに、駆動軸1の回転に伴い各インナ3が遠心力を作用されて各ばね5に抗して外方に傾動し、アウト6と接触して係合し、かくて動力の伝達が行われる場合を考えるに、各イ

ンナ3はその側面にフリクションプレート8との間の摩擦力を作用されて適宜の負荷状態に存するものでかくて各インナ3の移動は多少とも抑止され、これが比較的軽く動く場合における前記したジャダの発生がない。

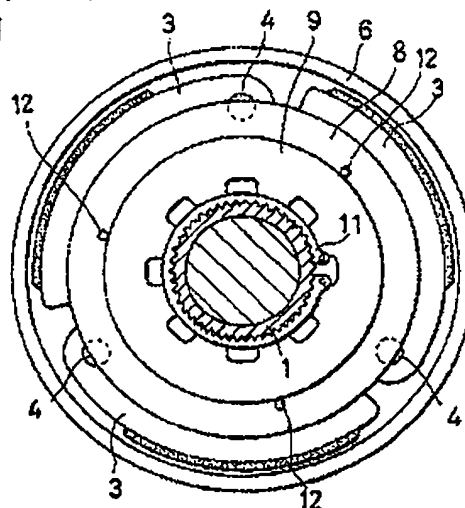
このように本発明によるときは駆動軸1上の固定プレート2に軸4を介して軸支されるインナ3は、これを軸4の先端が出ない肉厚に形成すると共に、該インナ3の側面に当接するフリクションプレート8は、これをインナ3の内側面全周に当接する環状リングに形成し、該フリクションプレート8の背面を皿ばね9で圧接させたものであるからインナ3はその軸孔を軸4に嵌合するのみでフリクションプレート8により抜け止め係止されるため、その組付作業を容易にすると共にインナ3はフリクションプレート8により重心付近においても側圧が与えられるためその可動時のバランスを良くして良好なダンパ効果が得られてクラッチのジャダを有効に防止でき、而もフリクションプレート8は軸4を越えて大径にすることも出来るためフリクションプレート8の直径の選択が自由である等の効果を有する。

図面の簡単な説明

第1図は本発明装置の1例の断面側面図、第2図及び第3図はそのⅡ-Ⅱ線及びⅢ-Ⅲ線断面図である。

1……駆動軸、2……プレート部材、3……インナ、5……ばね、6……アウト、8……フリクションプレート、9……皿ばね。

第2図

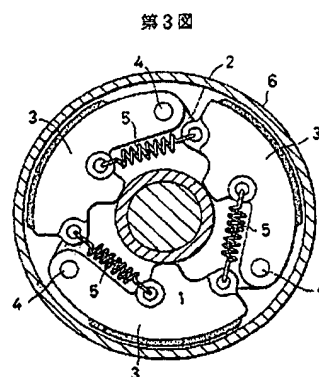
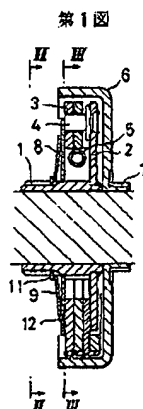


DOCUMENT 1/1
DOCUMENT NUMBER
@: unavailable

1. JP,63-027586,B(1988)

(3)

特公 昭 63-27586



— 151 —

BACK

NEXT

JP,63-027586,B

☒ STANDARD ☐ ZOOM-UP ☐ ROTATION ☐ No Rotation

MENU

SEARCH

RELOAD

PREVIOUS PAGE

HELP

NEXT PAGE